

施策番号	0602		
施策名	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援		
概要	伝統文化等を継承するため、国内外の人々が京都の伝統的な文化芸術を体験する機会を提供し、また、文化芸術活動が京都で展開されるよう、若手の芸術家等の育成等を行う。		
担当局・部室	文化市民局・文化芸術都市推進室	共管局・部室	行財政局・総務部
上位政策	6 文化		
施策に関する主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画		

施策の評価

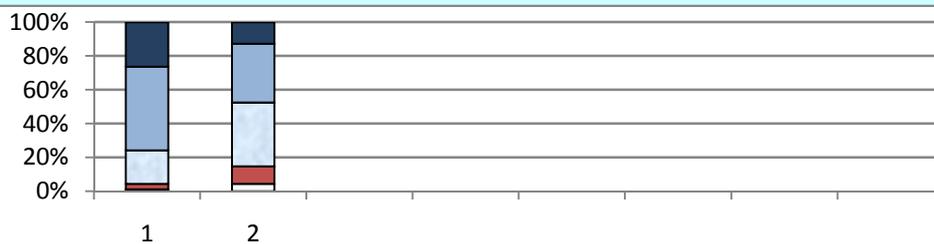
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 芸術大学における修士課程及び博士課程への進学者数(人)	-	-	56	63	63	100.0%	a	1.00
2 伝統芸能等事業の入場者数(人)	-	-	6,626	6,121	10,129	60.4%	e	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	142	267	107	18	6	540	a
	26.3%	49.4%	19.8%	3.3%	1.1%		
2 文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	68	187	202	55	24	539	b
	12.6%	34.6%	37.4%	10.2%	4.4%		
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							a



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	c	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 当該施策においては、施策の主な内容と客観指標とが端的に対応しているのに対し、市民の実感は他の文化芸術施策も包括した内容であるため、客観評価を重視する。						年度	-
(原因分析) ・客観指標については、若手芸術家の育成に関しては「芸術文化特別奨励制度」等の取組を経て成果が現われているが、伝統芸能の体験機会に関しては、薪能が開催の曜日、天候等の影響を受けやすいことなどから入場者数が落ち込んだ。 ・市民の実感については、伝統文化の継承や芸術系大学の集積といった京都の強みが反映された結果となっている。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	文化芸術顕彰制度	8,716	5,893	かなり良い	文化市民局
2	芸術文化協会交付金	17,752	35,385	かなり良い	文化市民局
3	文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出するための取組	27,609	27,493	良い	文化市民局
4	各種団体事業助成	19,064	26,521	かなり良い	文化市民局
5	芸術活動支援	47,844	54,780	普通	文化市民局
6	第26回国民文化祭・京都2011	119,094	500,364	良い	文化市民局
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・伝統芸能事業等の広報・宣伝を強化し、より多くの市民に、伝統的な文化芸術を体験する機会を提供するとともに、大学や産業界とも連携して、新たな創造活動の支援を図る。

施策名	0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援
-----	------	---------------------------

指標名	芸術大学における修士課程及び博士課程への進学者数（人）
-----	-----------------------------

担当課	文化芸術企画課	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

京都市立芸術大学における①学部卒業生のうち修士課程に進学した者及び②修士課程修了者のうち博士課程へ進学した者の合計数（進学先には他大学を含む。）

2 指標の意味

京都で若い才能が育まれていることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：学校基本調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	56	63	7人増	63	過去5年間の最高値（平成18年度）	100.0%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	H17 61人, H18 63人 H19 61人, H20 56人 H21 56人
----	---

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：上中間と平均値の間
d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：下中間以下

6 基準説明

進学者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：63（平成18年度）
平均値：60
最低値：56（平成20年度）

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	伝統芸能等事業の入場者数（人）
-----	-----------------

担当課	文化芸術企画課	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

伝統芸能等事業（市民狂言会、京都薪能、市民寄席）の入場者数

2 指標の意味

市民等が京都の伝統的な文化芸術を体験する機会を提供していることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	6,626	6,121	505人減	10,129	過去5年間の最高値（平成19年度）	60.4%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	H17 8,340人, H18 8,166人 H19 10,129人, H20 9,042人 H21 6,626人
----	---

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：上中間と平均値の間
d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：下中間以下

6 基準説明

入場数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：10,129（平成19年度）
平均値：8,461
最低値：6,626（平成21年度）

7 評価結果

		23
-	-	e